

インタビュー型ワークショップ全体のとりまとめ

芸北地域

温かさ、厳しさ、美しさを知ることができる
人も自然も家族のような
距離の近い
まちになる！！

大朝地域

人財にあふれているけど
活かしきれていない
地域の人やオンラインを活用して
選択肢に困らない
まちになる！！

千代田地域

実は人や資源がたくさんある！
人や企業をつなげて
チャレンジできる(しやすい)
環境の整った
まちになる！！

豊平地域

人も素敵、地域も素敵
子育て移住者も多い！
地域みんなで
子どももヒトも育てる
まちになる！！

移住者

地域ごとの魅力を
活かした情報発信と
住み続けられるイメージのできる
フォロー体制を！！

北広島のブランド化
(北広島ってコレ)
地区別の魅力創出

子育て世代

とにかく自然と隣り合わせで
子育てできる環境が魅力
自然や人をしっかり活かした
ブランド化を！！

若者

町で育った子どもたちは
町の魅力をきちんと感じている
短所の克服よりも長所を伸ばして
もっと知ってもらおう！！

情報発信や情報共有の強化・充実により、人と人がつながり、
地域同士がつながり、北広島全体のつながりを生み出すことが急務！

北広島町全体

★【芸北地区】 インタビュー型ワークショップまとめ

地域の魅力

- 人がとてもあたたかい
→人の輪がつながる
→人の距離が近い(良くも悪くも)
- 自然が豊か、水がきれい
- 森や田がきれい、景観がよい
- 人が少ないので静か、夜が暗くてよい
- 猟がしやすい(ジビエ)
- 災害が少ない
- 自給自足ができる
- 外の人も受け入れられる環境
→一方で譲れないものもある
- 地域愛が強い
- 地域の祭りがたくさん(神楽など)

地域の困りごと

- 細かいアクセスが悪い(ごみ捨て場が遠いなど)
- 市内から直通の公共交通がない(自家用車必須)
- 人口が少ないので公共施設など真っ先に切られる可能性
- 人口減少
→お店がなくなる
- 少子化、後継者不足
- プライバシーやプライベートの境目があやふや
- 子どもたちがやりたいこと(スポーツなど)が実践できない
- 本庁に声が届きにくい
(町全体の動きが把握できない)
- 相互の情報共有がうまくいっていない
→情報発信をしていかないといけない

<芸北ってこんなまち！>

- ◎ 自然がいっぱい
- ◎ 不便なまち
- ◎ 子育てが難しい

- ◎ 人があたたかい
- ◎ 人も自然も家族のようなまち
→温かさも厳しさもある

町にしてほしい

- 人口増加に向けてまちの魅力を発掘して町内外にPRしてほしい
- 移住や事業支援など最初だけではなく、継続に向けたアフターフォローをしてほしい
(移住の際、地域の人との橋渡しをしてくれている)
- みんながあつまれる公園、集合所がほしい
- 小さな活動をしている人が充実できる支援がほしい

自分たちでやってみたい

- 町内の連携を強めていく
- 魅力をどうやってみつけていくか
→集まって話す！飲む！
- 外を見える、外の人に見てもらう
- 土地が広いので騒いでも文句を言われたい
→団体や組織のトレーニングに向いている
- 信号がないのでサイクリングに最適
- 地域の人を連携させた観光案内をしていきたい
- イノシシを捕獲して活用する
→解体場、加工場を作る →農家レストラン
- 魅力を発信するにあたって人のつながりや家族感をもっと生かす

理想の10年後

- ◎ 田、森が美しいまち
→担い手がおり、維持ができています
- ◎ おいしいものが食べられるまち
→地域の人同士の連携
- ◎ 交通の利便性が良い
→地域の人との関わり合いでカバーする
- ◎ 子どもがにぎやかなまち
→大人もにぎやかになるし、集まる大勢の人が集まってくるまち
→移住、仕事(ジビエ)、旅行(紅葉、星空、雪)
→お金がおちる仕組みが必要



★【大朝地区】 インタビュー型ワークショップまとめ

地域の魅力

- 自然が近くてのびのび広々としている
- 水がきれいでも米もおいしい(源流がいくつもある)
- 大切な場所を地域で守っている
- 自然と人の共存ができています
- 田舎らしさと便利さのどちらもある
- 色々な人がいる、特徴のある人、多才な人
→新規事業やアートをする人など
- 高齢者の生きる知恵や力がすごい
- 山が比較的なだらかで、里山が身近に体験できる
→子どもたちの里山体験にはうってつけ
- 新庄学園での新たな教育の取組がある
- 高速道路が近く、アクセスが良い
- 芸術の題材に事欠かない
→生産者とアートでコラボできる(他分野の交流)
- 子どもの医療費が安い(18歳まで500円)

地域の困りごと

- 少子化
- 空き家が多く活用できていない
→家を建てるに建てられない
- 自然、田舎だけの売り文句では足りない
- お昼ご飯を食べるところやカフェなどが無い
→人がきてもお金がおちない
- 特色のある食文化や郷土料理がない
- 自然環境の変化
→森の生育が変わってきている
(マツタケなど採れなくなってきた)
- 森の手入れや関りが少ない
- 耕作放棄地が増えており、草刈りも大変
- 産科がない、病院が少ない
→救急車がなかなかこない
- 仕事の選択肢が少ない
→出ていく人が多い
- 教育の選択肢が少ない、都市部との差がある
→塾や習い事ができない
- 外に出るのにもお金がかかる
→子どもが遊びに出るのも心配

<大朝ってこんなまち！>

- ◎ 全部(人、自然、アクセス)の距離感が丁度よい
- ◎ 不便だから、ないものから考える生き方ができる
- ◎ ぬるま湯のようなまち
(ずっといたいけど、なれ合いになってしまう)
- ◎ 外の世界を知る機会が少ない
- ◎ 人材が豊富なのに活用しきれていない
- ◎ 生きる術を持っている人は多い

町にしてほしい

- 活動している人や能力のある人にもっと働きかけてほしい
- 人材バンクをつくる
- 地域の特徴をいかした教育や取組の充実
- 教育への投資(地域の人の活用)
- 交通機関の充実

自分たちでやってみたい

- 農業、酪農、アートなどを教育に関わらせる
- 人材バンクの整備
→地域、行政、教育現場が連携して活用につなげる
- ボランティアを継続できる仕組みづくり
- 婚活支援(地域内での狭い範囲で婚活イベント)
- エネルギーのある人を育成する
(起業、まちを引っ張る人)
→働く場の創出

理想の10年後

- ◎ がんばっている人、活動している人の発掘
→支援するところにはしっかり支援！
- ◎ 人材バンクの確立と活用の仕組みが成り立っている
→人材が活用できているまち
- ◎ 共助して生きていける仕組みがある
- ◎ 今の良い所(自然、生き方)が残っている
- ◎ 子どもが笑って過ごせるまち
- ◎ 今後の生活スタイル(車や IT など)の変化に対応した支援ができる



★【千代田地区】 インタビュー型ワークショップまとめ

地域の魅力

- 市内からのアクセス(自動車)・・・高速道路
→出張しやすい、都会からすぐ
- 中山間地区、霧が出る
→農業では気候が安定するので強み
- 自然が多く、四季がある
- 日常生活が便利
- 子育てするには最適
- 移住者が多い(仕事でくる)
- 神楽や伝統芸能などで子どもや地域の人が集まる
- ジビエ

地域の困りごと

- 子どもの安全な遊び場(中規模の公園など)がない
- 外国人研修生との文化の違いがあって付き合い方がわからない
- 働き手がない(母数が少ない)
- 地域活動などの後継者不足
- 病院の専門科が少ない

<千代田ってこんなまち！>

- ◎ 中途半端なまち
- ◎ 器用貧乏

- ◎ 田舎
- ◎ とがった人たちが出てきている
→投資して次の世代の成長へ

町にしてほしい

- 地域の人々がもっと声をあげやすくしてほしい
- 財政難を理由にせず、すでにあがっている意見を取り入れてほしい
→地域ごとの特色にあった施策展開
- 人と人、人と機関、企業をつなげる
- 住民とのコミュニケーションが必要
- 頑張る人の後押し
- 面白い産業の発掘
- 補助金の充実

自分たちでやってみたい

- 中山間だからできる多様な農作物
(見方を変えたら見えてくるものとして)
- ブランド化、ストーリーを組み込む
- 中途半端を磨き上げる
→町民が活動しやすい環境をつくってほしい
→この場のような話をいろんな人として交流したい

<住みやすいまちにするために必要だと思うもの>

- ✓ くるみの樹液からシロップが取れる
→山がほしい
→放置されている山も活用できる
→みんなで地域を守る活動につなげられる
- ✓ 生産物のブランド化
→いろんな特産を掛け合わせる
- ✓ 空き家(墓や仏壇のせいで活用しづらい)
→一棟貸しの宿として活用したい
- ✓ コレがあったらイイのに！
→グランピング
→スキー場の活用が必要
→1日居られる環境
→高齢者のグランドゴルフ場

理想の10年後

- ◎ 医療の充実
→人口維持に関わる
- ◎ 外国人を増やす
- ◎ 週末だけ、別荘のように利用できる、2拠点
- ◎ 観光と移住の間を攻める
→関係人口増
- ◎ 農業生産の補助を充実
→地域で活動する人の後押しをしてほしい
- ◎ ベビーリーフ生産のための設備に投資したい、補助がほしい
→チャレンジする人への補助制度の充実
→初期投資で終わるのではなく、継続的に次のステップへ行くための支援が必要



★【豊平地区】 インタビュー型ワークショップまとめ

地域の魅力

- 悪いところが見つからない
- いろんなものが丁度良い
- 四季がはっきりしている
→大人も子どももたのしめる
- 雰囲気が良い
- 立地、まちとの距離感、海へもいける
- 新鮮な野菜や作物
- 自然が豊か、静か
→交通量が少なく、通勤のストレスが無い、
→子どもも遊びやすい
- 地域の人との距離感が良い
- 子どもが育つのに良い
- 夏も涼しくて過ごしやすい
- コロナの影響が少ない
- 伝統文化がある

地域の困りごと

- アクセスが悪い(長年住んでいる人の意見)
- カーブミラーがもっと必要
- 若者の減少(最近少し増えてきた)
- 企業(仕事)が少ない
- 公共交通が弱い
- ネット環境が悪い
- 家の近くで買い物できる所がない
- 産科がない
(広島市に行くしかないが補助率が違うので負担)
- 様々なサービスの対象外地域になっていることが多い

<豊平ってこんなまち！>

- ◎ 人が穏やか(良し悪しある)
- ◎ 中々動き出さない
→やる気になればみんなで協力する

- ◎ 都会からの距離感がちょうどよい
- ◎ スポーツのまちという意識はあまり高くない
→地域のスポーツ行事などにはみんな参加する

町にしてほしい

- 災害への備え、避難所や備品の整備
- 農家の高齢化、後継者問題
→若い人が取り組みやすい環境にしてほしい
- もっとPRが必要

自分たちでやってみたい

- 地域の人々が参画する森の整備
- 大人がもっと自然と関わる必要がある
→子どもも、さらに自然にふれあえるようになる
- 新規就農の魅力を発信したい
→農業することのメリットが必要
(子育てに良い、自然から学べる)
- 資源ごみの回収を毎月地域でするといった活動を
拡充している
- 民間交通事業も視野に入れている
- 地域のみんなで子育て・人育てする

理想の10年後

- ◎ 地域で子どもも人も育てるまち
- ◎ 地域や色々な活動をしている人がたくさんいる
→情報共有が必要
- ◎ 今よりこどもがもっと明るいまち
→大人も明るいまち
- ◎ 情報発信
→声掛けをして地域をつなげていく
→戻ってこれるまち
- ◎ 地域の魅力があるのに、知らないことが多い
→語りの場の創出



★【移住者】 インタビュー型ワークショップまとめ

地域の魅力

- 住民がおだやか
- 吉木は移住者が多い
- コミュニティに自分の意見が反映されやすい
- 移住者を受け入れる気質がある
- 自然が豊かで珍しい動植物にも出会える
- 昔からの道が残っている(美しさ)
- 水がきれい
- 地域の伝統行事が定着している
→学校教育とも連携している

地域の困りごと

- 高齢化によってイベントや行事が減っている
→地域行事に子どもを関わらせられない
- 協力し合いたい、物理的に距離がある
- 各地区で完結している感じがある
(協力体制ができていない)

移住の理由

- 自然に囲まれている
- 移住者が多いので子どもが多かった
- アクセスや距離感、人、自然などトータルのバランスが良い
- 空き家バンクが利用できた

移住前との違い

- 地域で頑張っている人とそうでない人の熱量に差がある(自分事化をしている人とそうでない人)
※以前住んでいた所では全体の熱量が高かった
- 各地域の魅力を子どもが知るための取組がない
- 各地区の住民と支所のコネクションが弱い

<移住したまちってこんなまち！>

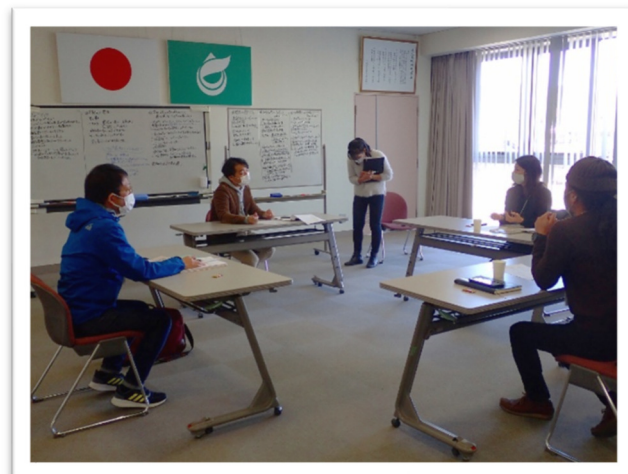
- ◎ 町としての一体感はあまりない(地域単位でまとまっている)
- ◎ 北広島町としてのイメージがうすい
→地域同士の横のつながりがうすい、旧町での特徴が強い
- ◎ 各地区のプライドが高い
- ◎ 目の前(近く)のコミュニティで協力し合うことが重要だと感じている
(旧町ごとには物理的な距離がある)

町にしてほしい

- 外向けにもっと情報発信してほしい
→空き家情報、移住者フェアへの参加
- 移住者用住宅の用意
- 空き家についての墓、仏壇問題
→寺院への相談を通して解決に向けた動きを！
- 移住相談のスペシャリストが必要
→職員は変わるので困る(せめて課同士の連携をしっかりとってほしい)
→住んだ後のイメージが湧くところまでマンツーマンでサポートしてあげることが必要
→生活面だけではなく、地域の人とのコミュニティづくりまで
- 住んでみて困ったときの助成金などの充実
- 移住者の受け入れには受け入れ地域側の主張も大切(だれでもどうぞではない)

理想の10年後

- ◎ 地域のブランド力を高める
→人が人を呼び込む
- ◎ 自然の中で生きることの魅力を後世(子どもたち)へ伝える
→Uターンにつなげる
- ◎ 今だからこそこのピンチ(コロナ、ニューノーマル)をチャンスに
- ◎ 子ども達がこの地域で経験する質の向上、経験値を高める
→子どもの時から学校教育を通して、地域の中に入れる仕組みづくり
→地域の魅力が体験できるようにする



★【子育て世代】 インタビュー型ワークショップまとめ

地域の魅力

- 自然が多い
→外でのびのび遊べる
- 食べ物が安心安全、新鮮で安い
- 地域の人との付き合いがしっかりしている
- 保育 →人数が少ないからこそ手厚く見てもらえる
(年齢を超えた付き合いもある)
- 学校の先生や生徒同士が身近
- 医療費が安い
- 伝統文化が継承されている

地域の困りごと

- 地域によって交通量が多い場所も多い
→歩いて行けるとところに公園がほしい
- 進学の実選択肢が増えてほしい
→広島市内への交通定期の補助など
- 子育てする(同世代の)お母さんとのつながりが持てず孤立してしまう
→気軽に何でも話せる相手やその情報が必要
(特に移住してきた人)
- 娯楽が少ない、お店の実選択肢が少ない
→刺激が少ない
- 大きな図書館がほしい
- 病院の専門科が少なく、小児科や出産施設がない
- 街灯が少ない
- ネット環境が悪い

<充実してほしい取組>

- ✓ 全園庭の芝生化
- ✓ 母がリフレッシュできる仕組み(一時預かりなど)の充実
→もっと利用しやすくしてほしい
- ✓ 行政書類などに未だに「ママが」とか「母親が」など、女性のみが子育てをする前提のような記載が気になる
- ✓ インフルエンザなどの予防接種に補助がほしい
- ✓ 市内へのバス通学などに補助が欲しい(バス停自体が少ない)
- ✓ 病後児保育を増やしてほしい
- ✓ 男女の働き方に昔からの考え方が強い
- ✓ フレックスタイム制を導入してほしい
- ✓ 女性の給与水準の引き上げ
- ✓ 育児休暇や有休のとりやすい環境
→小規模の企業だとなおさら休みがとりづらい

理想の10年後

- ◎ 地域に戻ってきたくなるまち
- ◎ 声を掛け合えるまち
- ◎ 多様性が認められるまち
→少数派がないがしろにされがち
(LGBT、外国人など)
→地域の人同士で支えられる
- ◎ 食に関心が高まっている今だからこそ
→新規就農者のサポート
- ◎ 地産地消の取組によるブランド化
(学校給食、無農薬作物の活用など)
- ◎ 北広島町はコレ！を見つけていく
→人を呼び込む好循環の創出、ブランド化

★【若者】 インタビュー型ワークショップまとめ

地域の好きなおとこ

- 町民が優しい、親切
 - 見守り、声掛けなどに心温まる
 - 地域と一体となって育ててもらった
 - 高校進学で外から来たが、温かく受け入れてもらった
- 町民の笑顔が良い
- 地域内での交流があって、住民同士のトラブルが少ない
- 人同士の距離感が良い
- 自然が豊か、景色を眺める、星に感動できる、山で遊べる
- 18才までの医療費が安い
- 高校までは町内で行ける
- 神楽がある

地域の不便なおとこ

- 寒い、雪が多い
- 公共交通がほぼなくて、車が必須（高校生など、車に乗れない人は大変）
- 街灯が少なくて暗い
- 道路や歩道の整備が不十分
 - 危険
- 勉強や遊びなどで気軽に集まれるところが少ない（ファストフード店のような場所がほしい）
- 娯楽施設はそれほど求めていない
 - 学生は部活に打ち込んでいる人が多い
- 共有できる仲間が少ない
 - やりたいことがあって外に出る人は多い
- 利便性は高くない
 - 1人暮らしをしたくて外にでる人は多い

<北広島ってこんなまち！>

◎ 四季の変化がわかりやすい
(スキー、紅葉、避暑地)

◎ 田舎の中の都会(千代田)
→広島市まですぐ

移住者が感じていると思う魅力

- 豊かな自然、きれいな星空
- 時の流れがゆっくりしている
- 子育てがのんびりできる
- 心が落ち着ける
(地域の人の優しい人柄に関係するかも)
- 文化遺産が多い
- まちの便利さと自然のバランスの良さ

住み続けるために必要なこと

- 家さえあればよい
- 地域の人(年齢差を超えて)関われるコミュニケーション能力
- 近所づきあいが大切
- 仕事
 - 仕事の選択肢は少ない?
 - 千代田高校にくる求人数はかなり多いイメージ
- 子どもが生まれたときのことを考えると公園がほしい
- 防災意識(ハザードマップが古い)

理想の10年後

- ◎ 若者が発言しやすい環境づくり
- ◎ 町の PR をもつとする(知らない人たちに知ってもらう)
→スポーツや神楽が盛ん
- ◎ 安心して暮らせるまち
- ◎ 少子高齢化だが、若者が自ら訪れてくるまち
→若者住民や若者移住者のバックアップ
- ◎ 行事やイベントの運営に若者を参画させる
- ◎ 地域密着型の仕事をしている人たちと行政がうまく連携する
(一人ひとりの顔を知っている郵便局など)
- ◎ スポーツ、スキー、神楽などで北広島町に来たことがある人は意外と多い
→再訪してもらうためのきっかけや付加価値など次のステップが大事
→若者の声を反映させて作っていく(移住者、子育て世代の支援)

